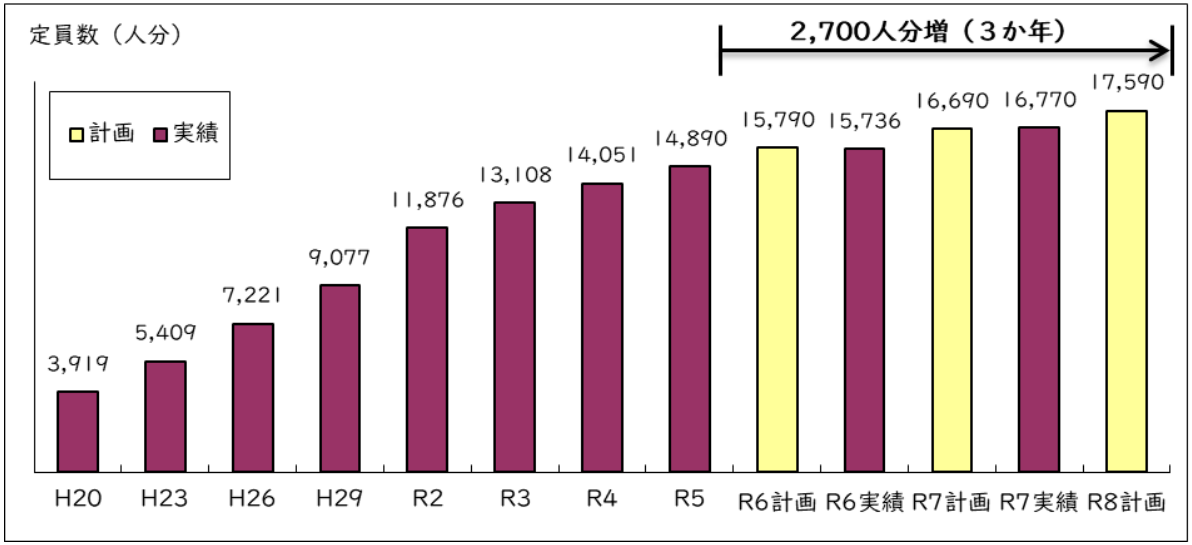
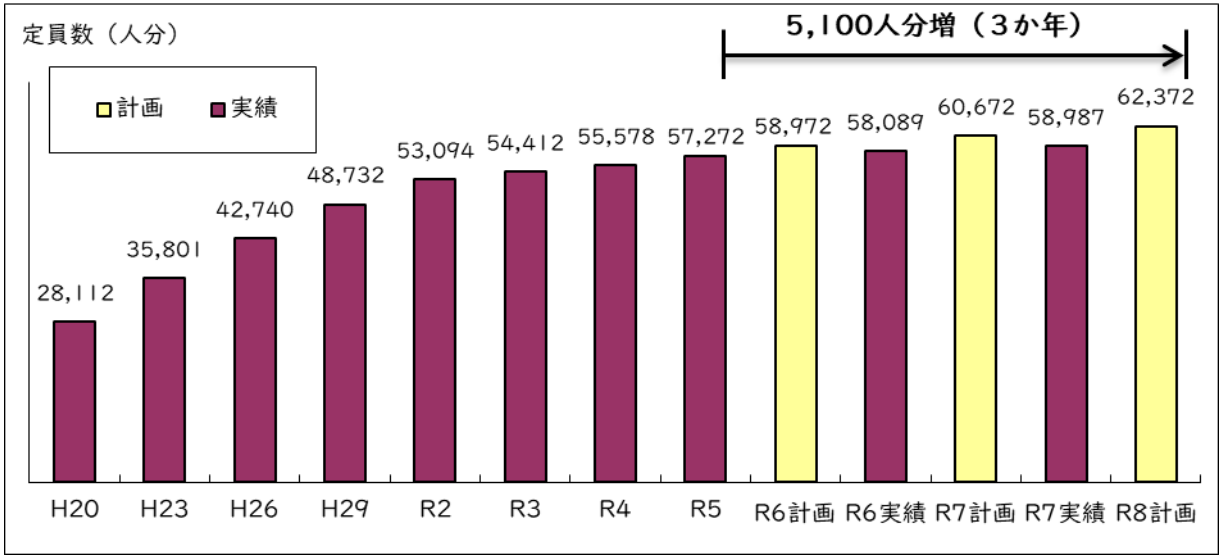
地域におけるサービス等提供体制について

○ 地域生活基盤の整備の状況（計画・実績ともに各年度末時点）

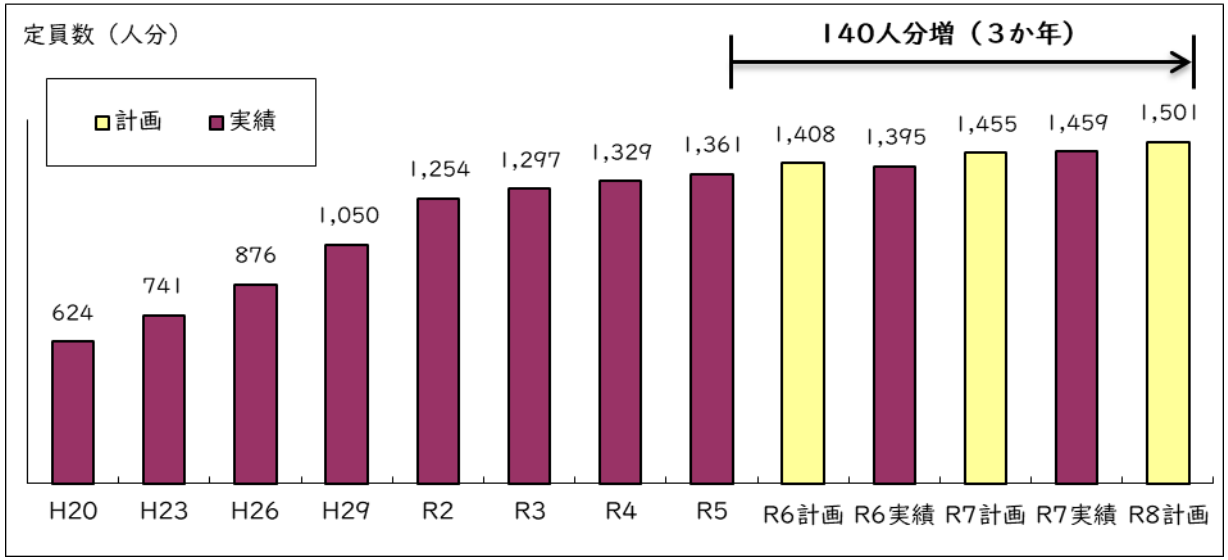
【地域居住の場の整備(グループホーム)】



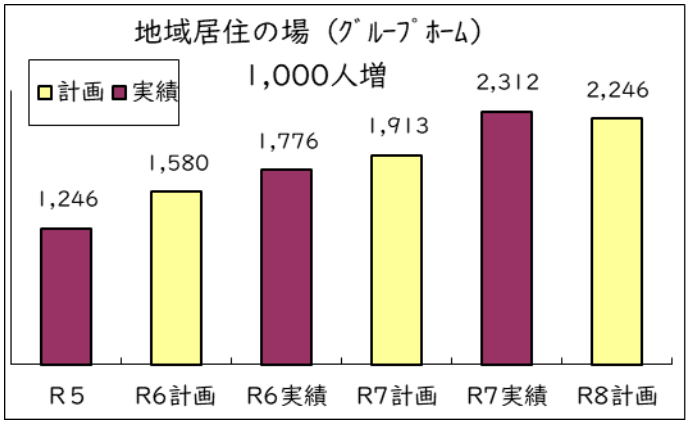
【日中活動の場の整備（通所施設等）】

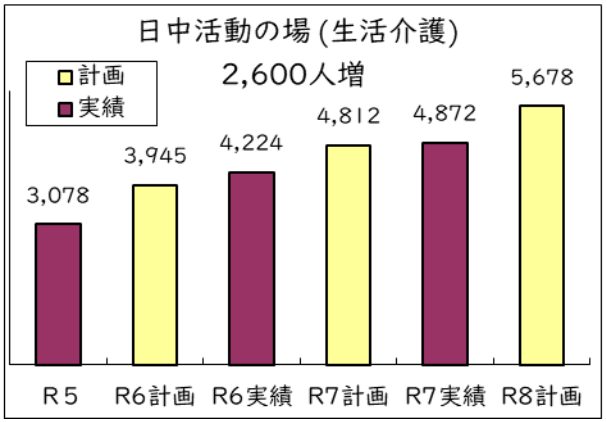


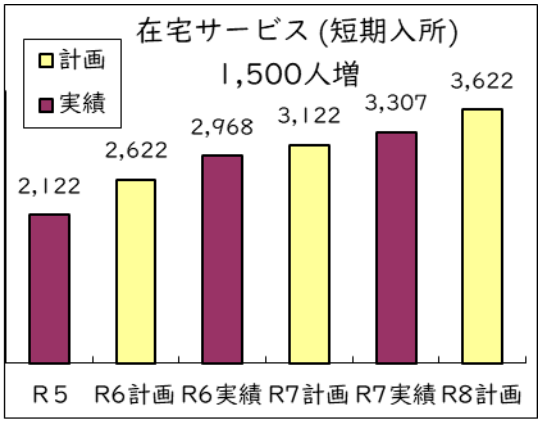
【在宅サービスの充実（短期入所）】



【重度障害者の利用者数】





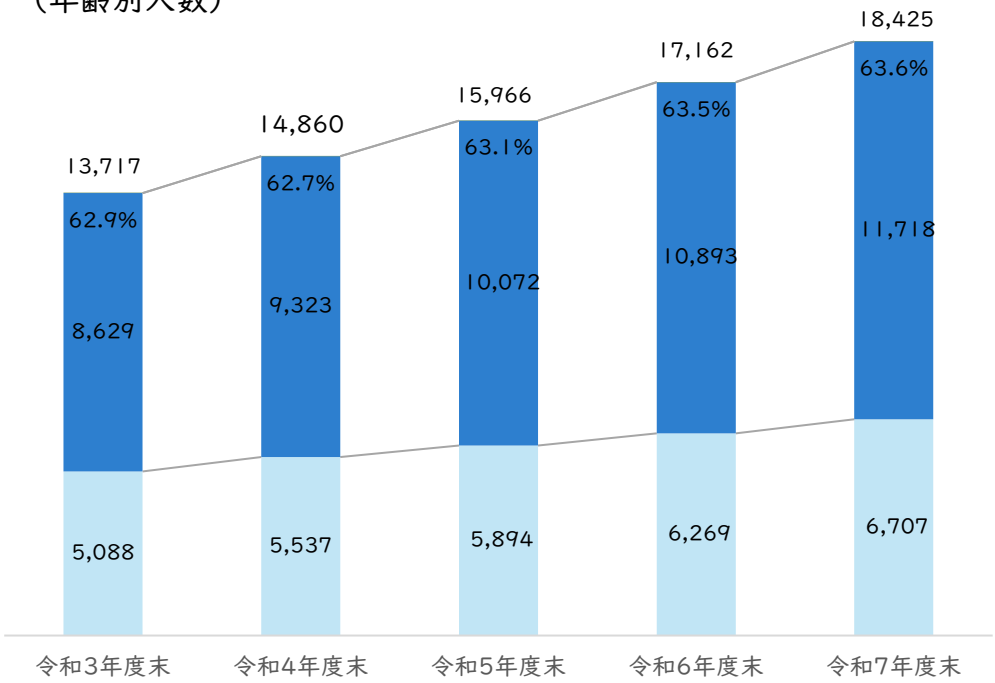


○ 年齢別・障害支援区分別利用者数の推移

※国保連データ「年齢別サービス種別別集計（利用者数）」より、
各年度３月サービス提供分の「共同生活援助」のサービス利用者の状況を集計

【グループホーム】

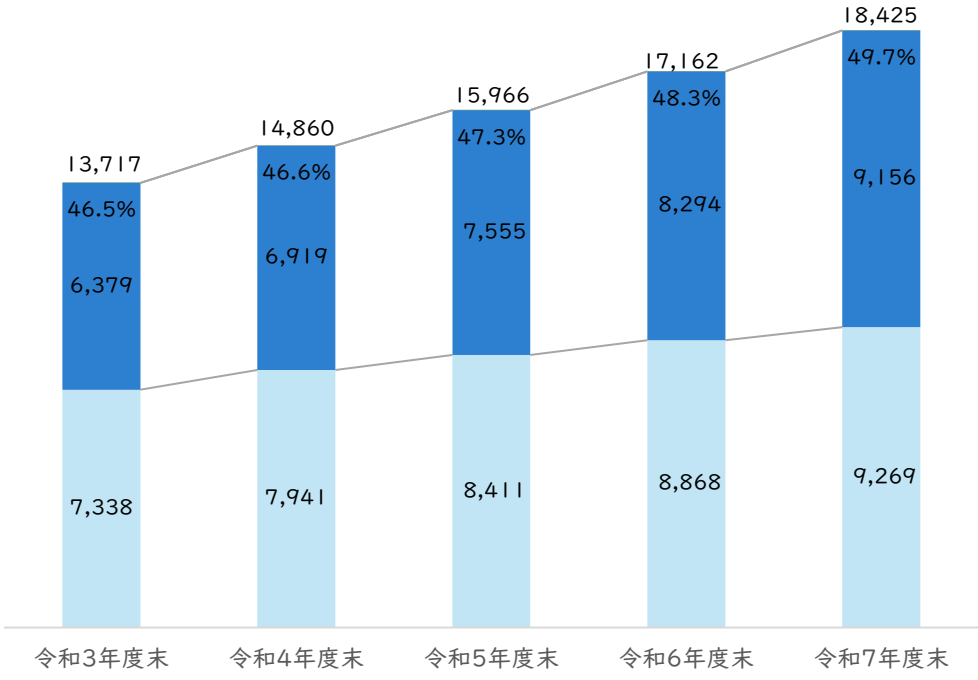
（年齢別人数）



：４０歳以上　　：４０歳未満

【40歳以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の62.9%から令和7年度末には63.6%に増加

（障害支援区分別人数）



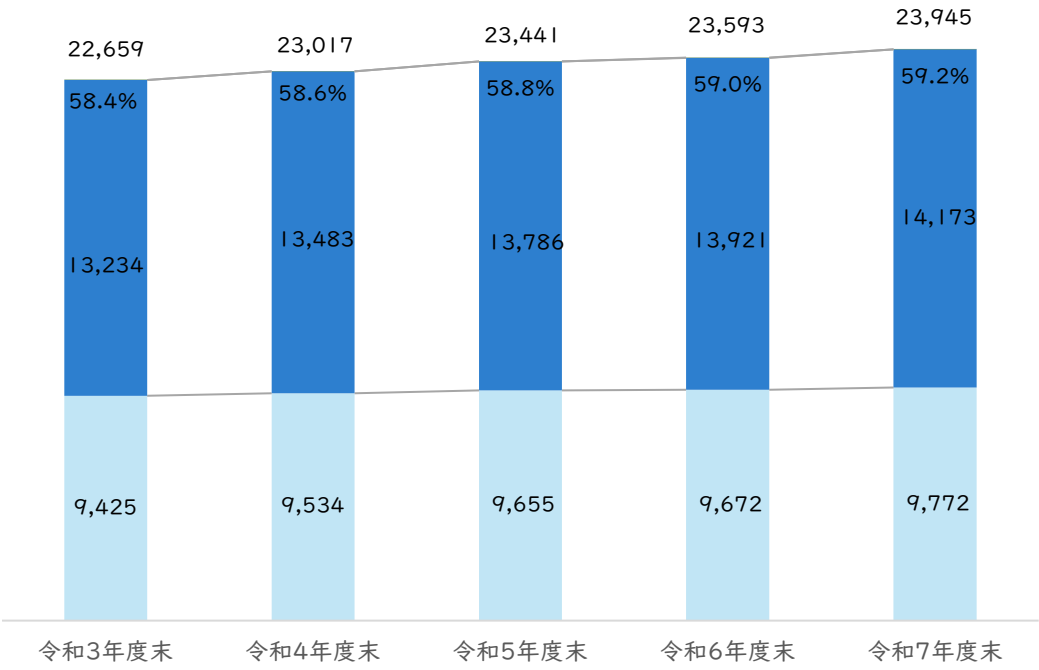
：区分４～６　　：区分なし～区分３

【障害支援区分４以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の46.5%から令和７年度末には49.7%に増加

【生活介護】

※国保連データ「年齢別サービス種別別集計（利用者数）」より、
各年度３月サービス提供分の「生活介護」のサービス利用者の状況を集計

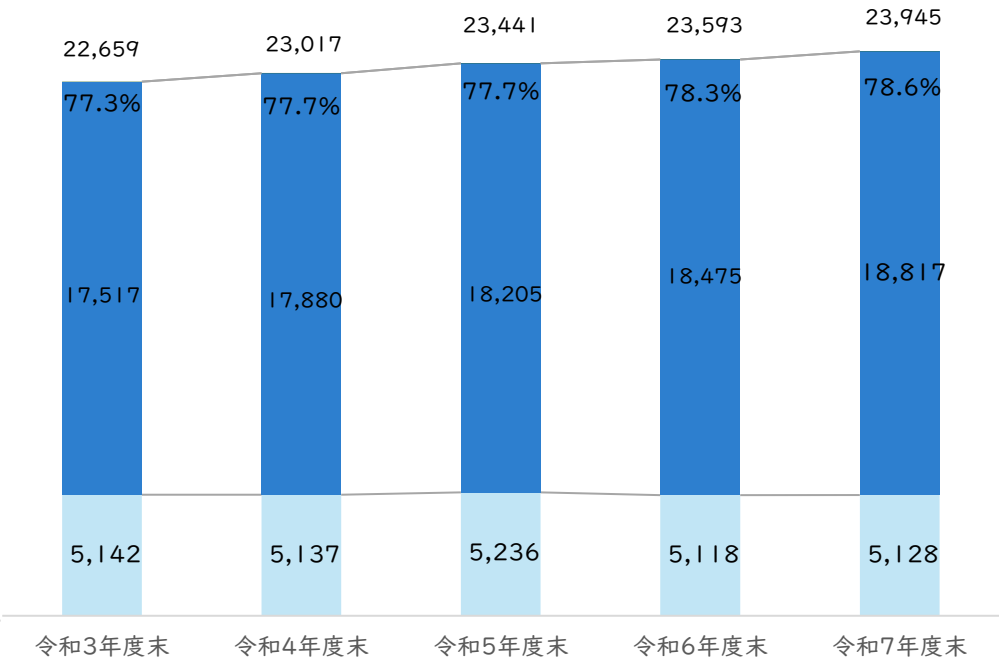
（年齢別）



：４０歳以上　　：４０歳未満

【40歳以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末58.4%から、令和７年度末59.2%に増加

（障害支援区分別）



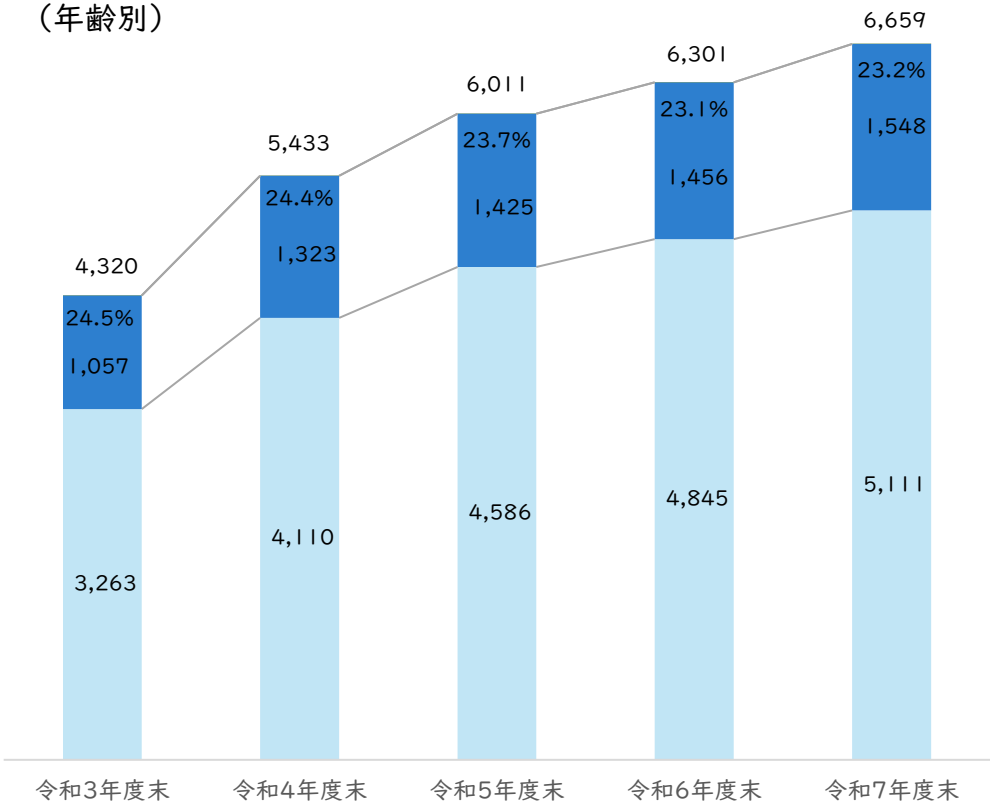
：区分5～６　　：区分なし～区分4

【障害支援区分5以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の77.3%から、令和7年度末には78.6%に増加

【短期入所】

※国保連データ「年齢別サービス種別別集計（利用者数）」より、
各年度３月サービス提供分の「短期入所」のサービス利用者の状況を集計

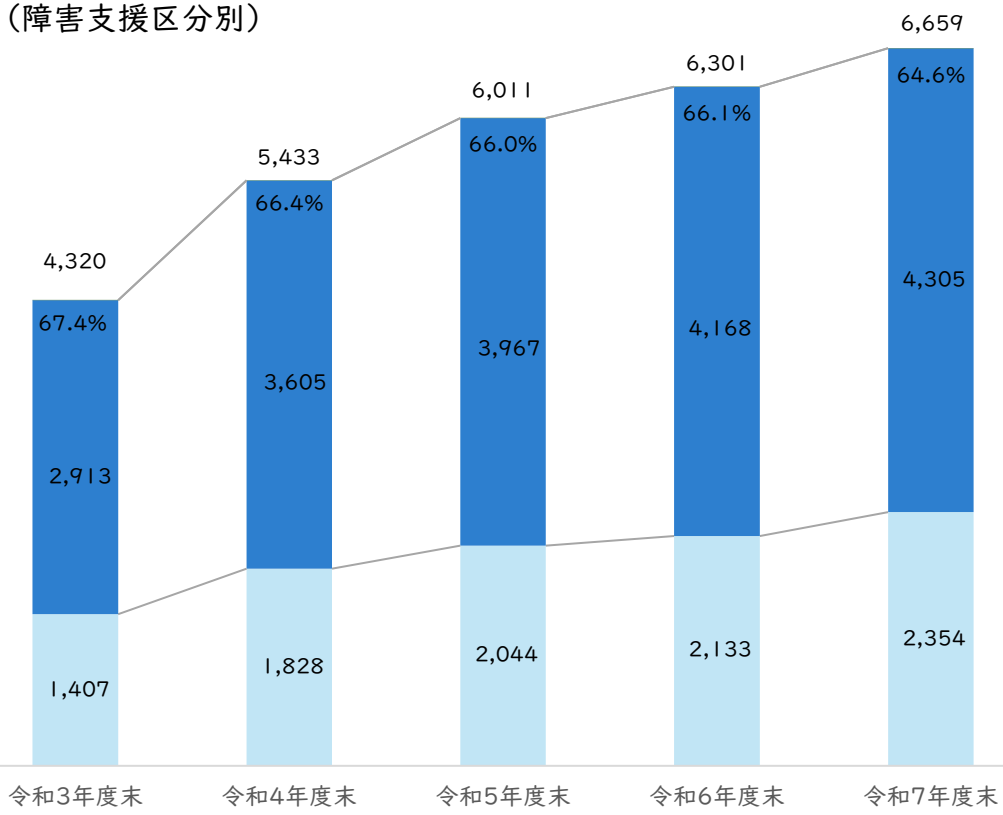
（年齢別）



：４０歳以上　　：４０歳未満

【40歳以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の24.5%から令和7年度末には23.2%に減少

（障害支援区分別）



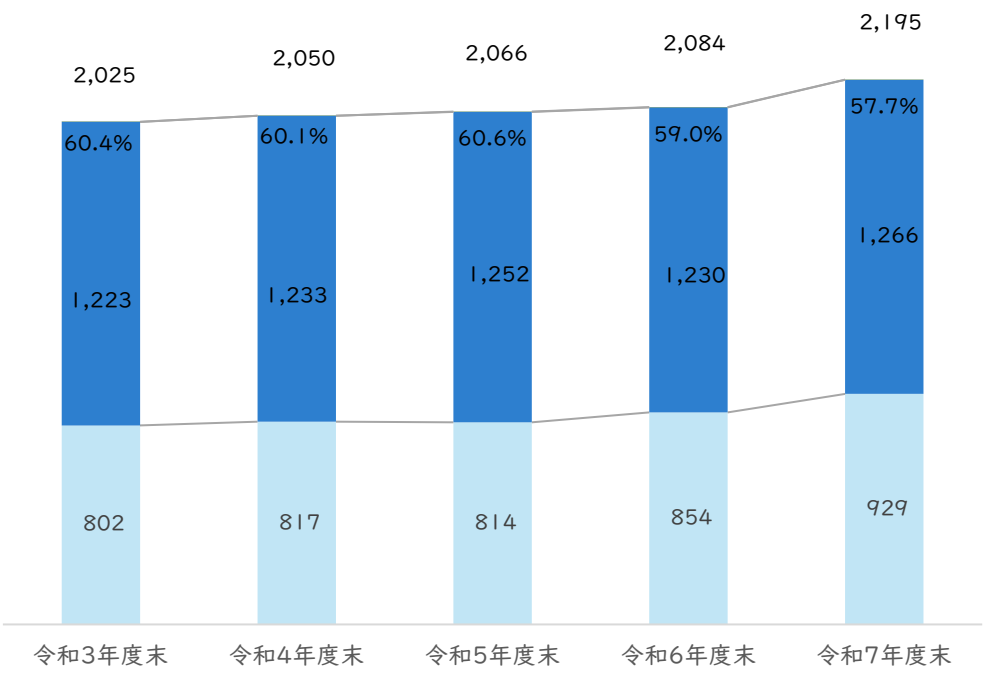
：区分４～６　　：区分なし～区分３

【障害支援区分４以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の67.4%から令和７年度末には64.6%に減少

【就労継続支援A型】

※国保連データ「年齢別サービス種別別集計（利用者数）」より、
各年度３月サービス提供分の「就労継続支援A型」のサービス利用者の状況を集計

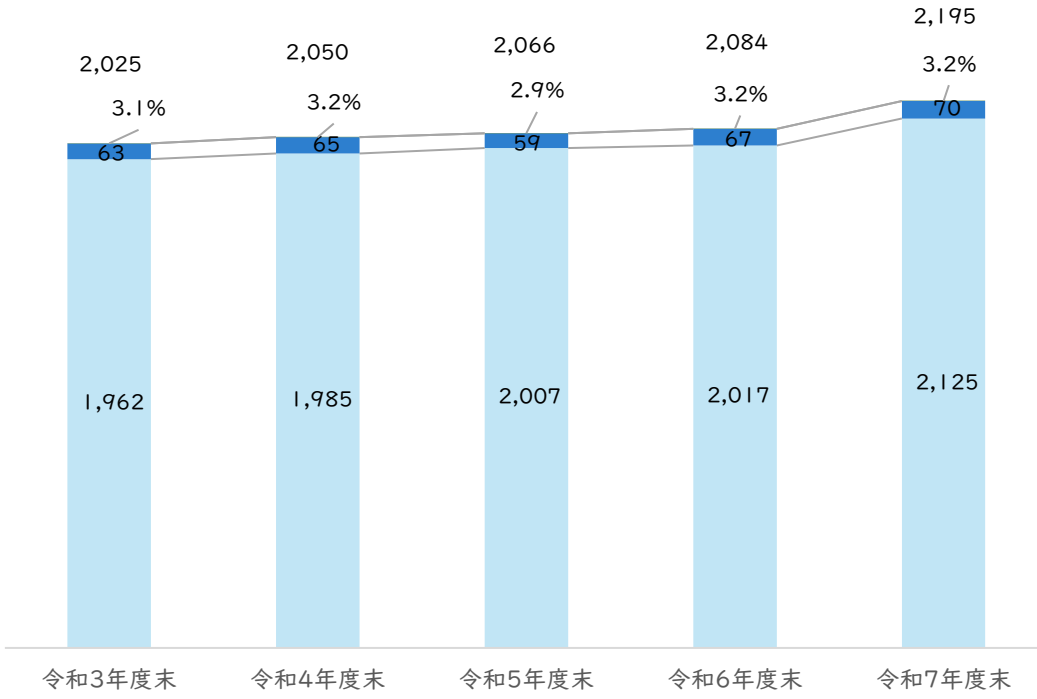
（年齢別）



：４０歳以上　：４０歳未満

【40歳以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の60.4%から令和7年度末には57.7%に減少

（障害支援区分別）



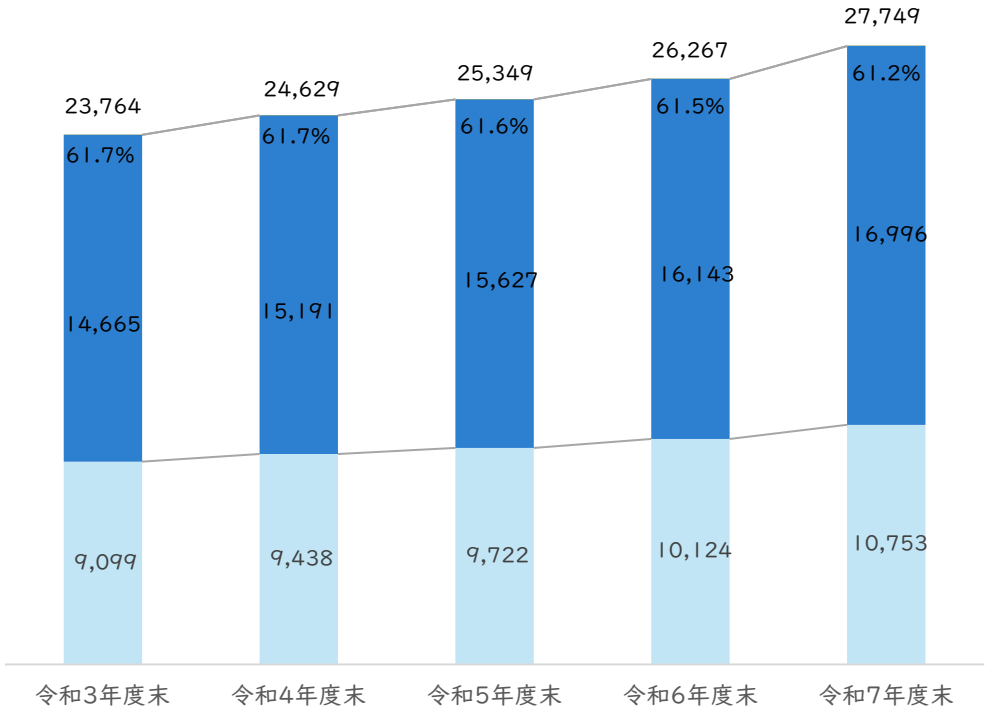
：区分４～６　：区分なし～区分３

【障害支援区分４以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の３.１%から令和７年度末には３.２%と横ばい

【就労継続支援Ｂ型】

※国保連データ「年齢別サービス種別別集計（利用者数）」より、
各年度３月サービス提供分の「就労継続支援B型」のサービス利用者の状況を集計

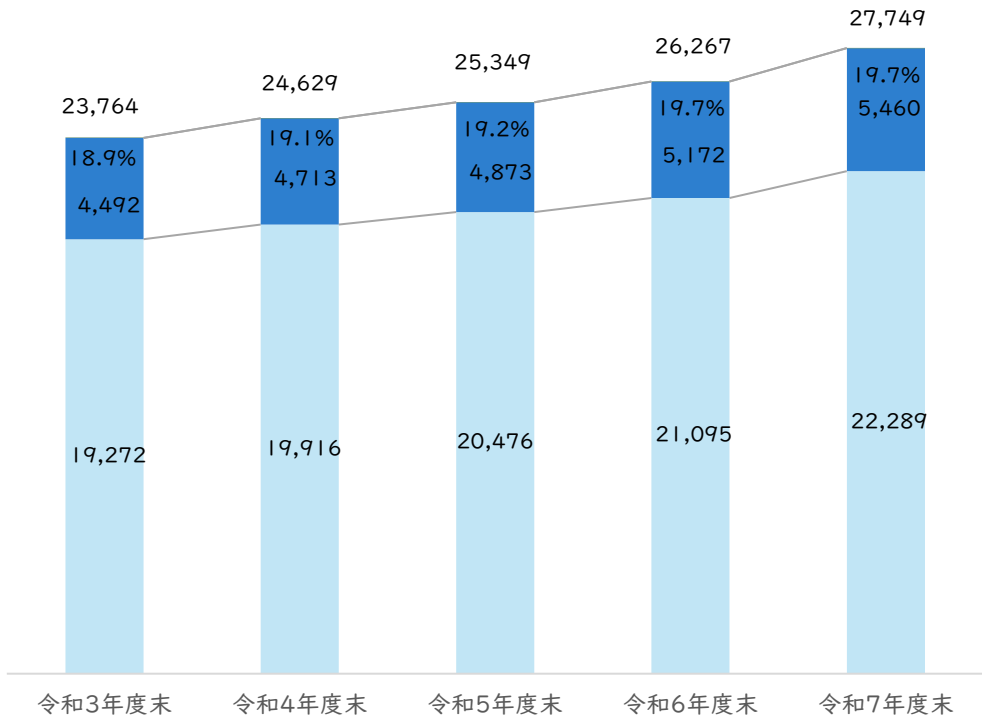
（年齢別）



：４０歳以上　　：４０歳未満

【40歳以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の61.7%から令和7年度末には61.2%に減少

（障害支援区分別）



：区分４～６　　：区分なし～区分３

【障害支援区分４以上の利用者の全体に占める割合】
令和３年度末の18.9%から令和７年度末には19.7%に増加

○ 重度障害者の受入促進に向けた主な取組

グループホーム体制強化支援事業

特別な支援を必要とする重症障害者を受け入れ、手厚い職員配置を行うグループホームに対して支援
※体制強化Ⅲについては R6年度から実施

区分	条件		上限額(年)	実績（単位：ユニット）		
	職員配置	利用者		R5	R6	R7
Ⅰ	事業所ごとの４：１配置に加え、３：１相当の職員配置	障害支援区分4以上の利用者が8割以上	1,176千円	234	270	290
Ⅱ	事業所ごとの４：１配置に加え、２：１相当の職員配置	Ⅰに加え、支援困難者（支援区分6／行動障害者／重複障害者）を受入れ	1,617千円	57	61	83
Ⅲ	Ⅱに加え、管理者・中核職員が特定の研修を修了し、他の支援員へスキルを共有	Ⅱに加え、強度行動障害のある利用者を１名以上受入れ	1,102千円	－	20	38

強度行動障害者等の受入れ環境整備事業

グループホーム及び短期入所事業者が、強度行動障害者等を円滑に受け入れるため実施する居室環境等の整備に係る費用の一部を補助

事　項	内　容
対象施設	共同生活援助（グループホーム）、短期入所
補助条件	障害者支援区分４以上又は 行動関連項目10点以上の障害者を受け入れる
補助基準額	１人あたり500千円
負担割合	都：７/８、事業者：１/８

【環境整備の例】

● 壁に埋め込んだエアコン



● アクリル板設置



● 二重窓



※　補助金の申請は、四半期ごとに受け付ける

短期入所開設支援



◆医療型短期入所の新規開拓

- 他自治体での実績のある民間の医療コンサルタントに委託
- 医療機関等に対し、医療型短期入所の説明、事業指定に向けた支援



①開拓提案のための個別訪問

- 病院、診療所、介護老人保健施設等に対し、医療型短期入所事業所開設の提案、働きかけのため、訪問説明を実施

②相談窓口の設置・講習会・視察支援



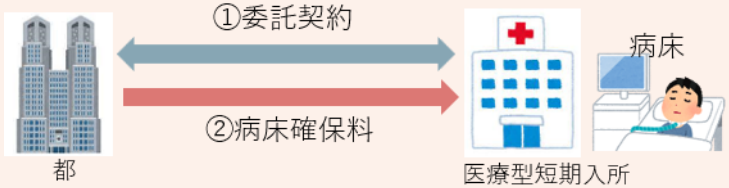
【新規指定等の状況（令和８年８月１日時点）】

種別	指定年月日	病床確保事業契約病床数
介護医療院	R6.3.1	3床
病院	R6.4.1	2床
老人保健施設	R6.4.1	1床
病院	R7.6.1	1床
病院	R7.6.1	1床
病院	R8.5.1	2床
合計		10床

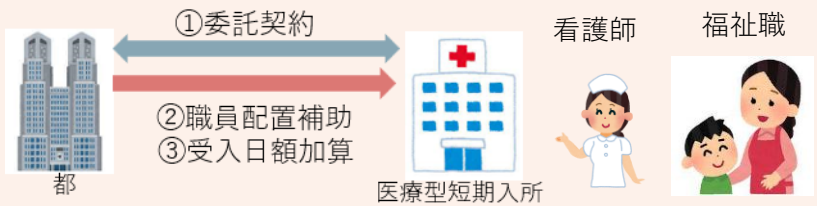
※その他、既存施設の病床増：８床(Ｒ５:２床　Ｒ６:２床　Ｒ７:４床)

病床確保事業・受入促進員配置

- 短期入所事業所の指定を受けた施設を対象
- 重症心身障害児者、医療的ケア児者専用の病床確保を目的

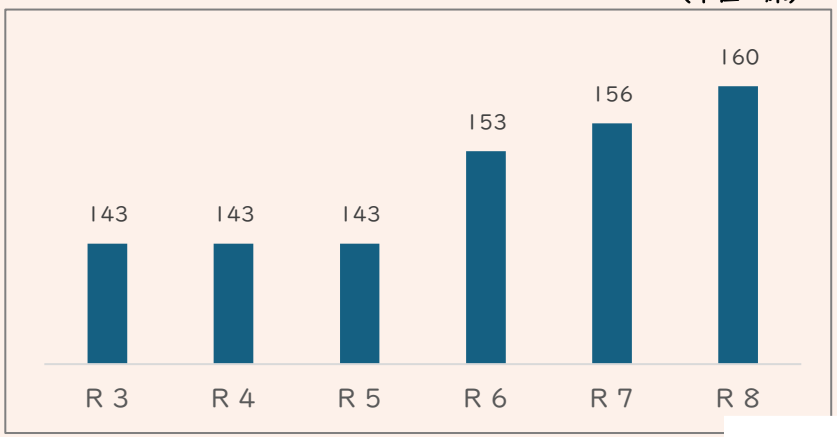


- 病床確保事業契約施設のうち、超・準超重症児者等の受入が一定基準以上の施設を対象
- 看護師配置等の加算、超重症児等の受入の日額加算



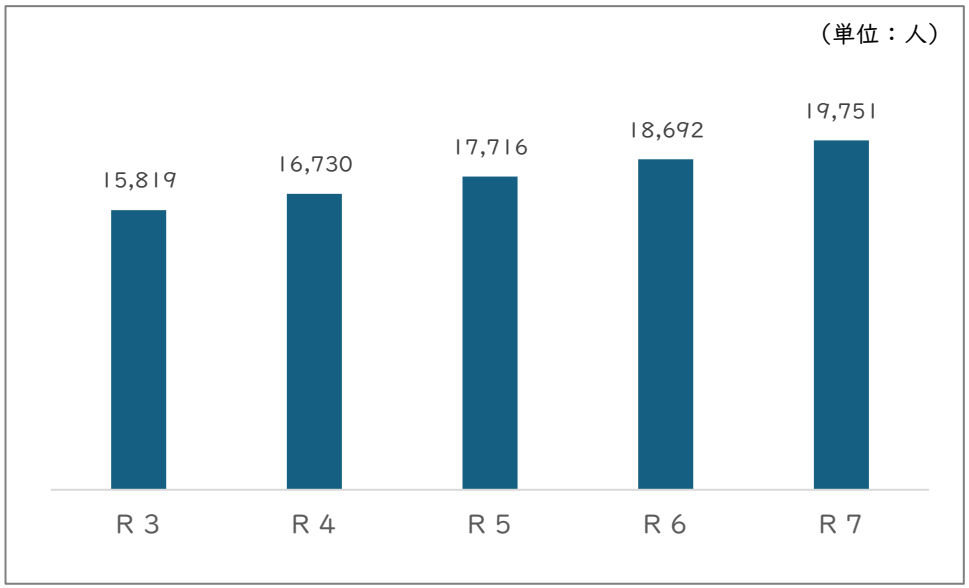
【確保病床数の推移（各年度４月１日時点）】

（単位：床）



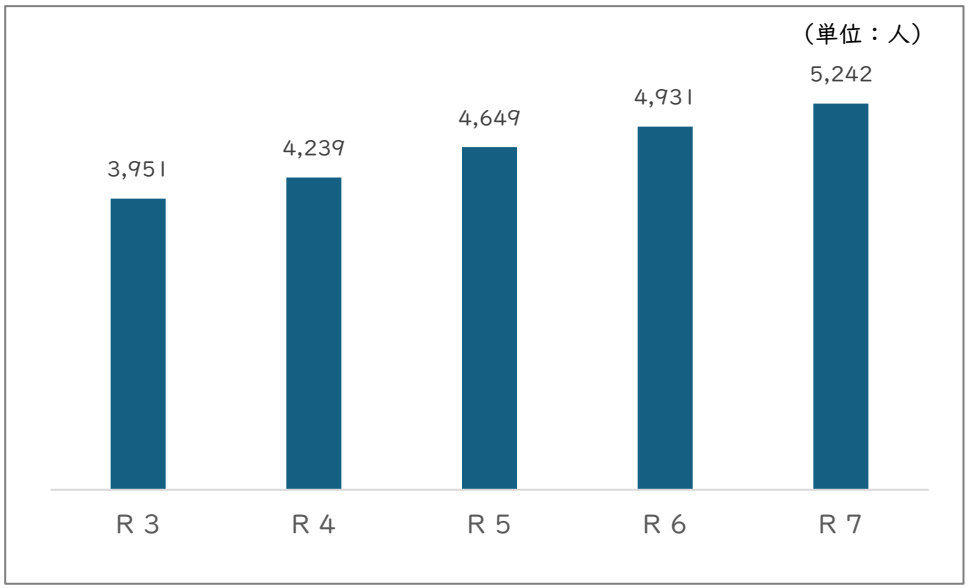
○ 計画相談支援等の進捗状況

【計画相談支援（障害者）利用者数の推移】



※国保連データより、各年度の月平均の利用実績

【障害児相談支援 利用者数の推移】



※国保連データより、各年度の月平均の利用実績

【セルフプラン率】

（障害者総合支援法分）

	障害福祉サービス等受給者数		セルフプラン率
		うちセルフプラン	
令和６年３月時点	97,098人	17,105人	17.6%
令和７年３月時点	101,061人	17,614人	17.4%

（児童福祉法分）

	障害児通所支援受給者数		セルフプラン率
		うちセルフプラン	
令和６年３月時点	50,401 人	24,080 人	47.8%
令和７年３月時点	54,165 人	26,949 人	49.8%